

かえん うつわ
火焰の器

加羅古呂庵 一泉

か え ん う つ わ 火焰の器

縄文土器の中でも火焰型土器は、その燃え上がるような形が目を引きま
す。縄文時代を代表するかのような印象を受けるのは、教科書などに載せられた写
真のせいでしょうが、信濃川流域に見られる土器で、一つの文化圏を形成してい
たようです。

この火焰型土器がどのように生み出され、どのように作られ、どのように使わ
れたかは、知る由もありませんが、「土の力」「赤い火」「煮炊き沸騰」の3つの
シーンで想像してみました。

粘土を捏ねながら、アイデアが浮かび、火が燃えさかるかのような造形を生み
出した人がいたのでしょう。土器作りの作業は、何人かの共同作業であったのか
もしれず、形を作り、火で焼き、それが人々に受け入れられて、信濃川流域に広
がっていったのかもしれない。

土器を焼くにも、その土器を使って煮炊きをするにも、火は欠かせません。草
や木を集め、火をおこし、煙が出始め、やがて赤い火がめらめらと燃えさかりま
す。

火焰型土器には、おこげのあとが残っているそうです。何かの儀式に使われた
のかもしれませんが、実際に煮炊きに使われていたようです。山の幸、川の幸、
野の幸を集めて、ぐつぐつと煮込み、それを囲んで人々が談笑していたのかもしれ
ません。冬の雪に囲まれた中でも、ぬくもりのある暮らしがあったのかもしれ
ませんね。

参考文献：「日本遺産 火焰型土器」ホームページ <https://www.kaen-heritage.com/doki/>

加羅古呂庵ホームページ



尺八I 1尺8寸管
尺八II 1尺8寸管
尺八III 1尺8寸管
尺八IV 2尺3寸管

タ
ピ
口

31

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf *f* *mf* *f* *mf*

36

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

41

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

46

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

51

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf *rit.* *rit.* *rit.* *rit.*

55 赤い火 ♩=80

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf *f poco rit.* *f poco rit.* *mp* *f poco rit.* *mf* *f poco rit.* *mf*

♩=120

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

60

mf

mf

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

64

f

f

mf

f

mf

f

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

68

mf

mf

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

72

mf

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

76

mf

尺八I
尺八II
尺八III
尺八IV

80

f

f

f

f

84

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

mf

88

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

mf

92

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

mf

96

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

f

poco rit.

f

poco rit.

f

poco rit.

f

poco rit.

煮炊き沸騰
♩ = 88

101

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

mf

105

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

mf

mf

mf

109

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

113

尺八I

尺八II

尺八III *mf*

尺八IV

117

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

121

尺八I

尺八II

尺八III

尺八IV

125

尺八I

尺八II *f*

尺八III *f*

尺八IV

129

尺八I

尺八II

尺八III *mf*

尺八IV *mf*

133

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

mf

137

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

mf

141

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

145

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

f

mf

149

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

f

mf

mf

153

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

mf

mf

157

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

mf

mf

169

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

ff

ff

ff

ff

161

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

174

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ

mf

ff

mf

ff

mf

ff

165

尺八Ⅰ

尺八Ⅱ

尺八Ⅲ

尺八Ⅳ